



しょうしょ

小暑（7日）… 七夕に願いを託します …

園庭の築山のフェンスに沿ってブドウが蔓を伸ばし、あちこちに青い房を付けています。このブドウは15年ほど前に、保護者からいただいた苗を植えたものだそうです。秋には紫色に色付いて、その恵みをいただけたらうれしいですね。畑やプランターでは、南青山産の野菜が成り始めました。今年は収穫できた順に一つずつ持ち帰っています。採れたての旬の野菜の味は、きっと五感に響く思い出となることでしょう。

<温風至 あつかぜいたる 7月7日～11日>

小暑の初候は「温風至」です。温風とは梅雨明けの頃に吹くあたたかい南風のことだそうです。さて、7月から全員が登園するようになり、広い遊戯室で学年ごとに集会を再開しました。3日は、待ちに待った年長児の3月の誕生会でした。子どもたちの遊びのヒントになることを期待して、先生たちが楽しい出し物を披露しました。妖精の魔法で、透明の水がいろいろな色のジュースになると大興奮です。保育室に戻ると子どもたちは、すぐに魔法を解き明かそうと試行錯誤を始めていました。

<きれいなジュースができる魔法にびっくり…>



竹林の笹を剪定した際に、笹舟を作って子どもたちに紹介してきました。その後、年長児の中には自分で作れるようになった子もいて、2階のテラスで浮かべて遊ぶ姿も見られるようになりました。



<七夕に願いを込めて>

七夕子ども会も、密を避けるために学年や学級で行いました。短冊にはかわいい願い事がそれぞれに書かれていて、ほのぼのとした気持ちになりました。ハサミやのりを使っていろいろな飾りを作る中で、今年は感染予防策として、スティックのりを使用しました。これも新しい生活様式ではありますが、改めて一日も早い新型コロナウイルス感染症の収束を祈るばかりです。

「私も小さい頃に遊びました」「お風呂に浮かべてみました」という保護者の皆さんからの声を多くいただき、園と家庭の生活がつながり、遊びの幅が広がったことを実感します。身近な自然を使った素朴な遊びを紹介し、それが子どもたちの遊びとなったことをうれしく思います。今後も園と家庭がうまくつながっていくといいですね。



蛍光絵の具で彩色された絵はブラックライトを当てると鮮やかに光って、きれいな「ブラックライトシアター」となり、幻想的な映画館に子どもたちは見とれていました。七夕の夜、ご家庭ではどのように過ごされましたか…。